



平成 25 年度 第 1 回
地域公開講座

昨年度開講いたしました『地域医療公開講座』。今年度も4回の定期開催を予定いたしております。地域住民の皆さまの健康増進、疾病予防をはじめ、医療に関する様々な疑問や心配にお応えできる機会になればと考えております。どなたでも気軽にご参加いただけますので、皆さま、お誘い合わせの上、ご来場ください。

日時

平成25年5月30日(木)
午後 14:00~15:30

**申込不要
参加料無料**

会場

倶知安厚生病院 新棟地下1階
講義室

テーマ

**「ひとりで悩んでいませんか？
“おしっこ”のこと…」**

年齢とともに男女を問わずに増加する“おしっこのトラブル”
気になる泌尿器科の病気、専門医が 検査・診断・治療・予防について、
お話し致します。〔男性は前立腺の病気、女性は尿漏れ…など〕

講師

JA 北海道厚生連 倶知安厚生病院
副院長・泌尿器科主任部長 高木 誠次 医師

事務局

JA 北海道厚生連 倶知安厚生病院
TEL 0136-23-2185
地域医療連携室 日座 (ひざ)



倶知安厚生病院
北海道虻田郡倶知安町
北4条東1丁目2番地
電話：0136-22-1141
FAX：0136-21-4388

JA北海道厚生連
北海道厚生農業協同組合連合会

**平成25年度より出張講座(無料)を
開講いたします！町内会や老人クラブ、
介護福祉施設等各種団体からの依頼講座
を随時受け付けております。
お申し込み等は上記担当者までお願い
いたします。**

春 第8号

JA 北海道厚生連
倶知安厚生病院
院外広報誌

笑顔だより



新年度のご挨拶

新緑の候、皆さんいかがお過ごしでしょうか。倶知安厚生病院の九津見圭司です。
新院長としてこの紙面でご挨拶させていただいてから、早いもので1年が経ちます。昨年は、当院の一番の課題として常勤医確保を挙げていました。常勤医不足により生じていた問題のひとつは、総合診療科の外来医師が頻繁に変わることでした。少ない常勤医を出張医で補っていたため、そのような事態が生じていました。しかし嬉しいことに今年度から総合診療科の常勤医が増えることになりました。それに伴い、総合診療科出張医の外来枠は漸減する予定ですので、そのような不満も解消されていくと思われまます。また、4月からの外来待ち時間短縮の取り組みとして、当院に受診歴がある患者さんに関しては、電話での予約を受け付けることにしました。しかし、予約枠の設定には試行錯誤が必要と予想されます。初期の混乱があるかもしれませんが、ご協力よろしくお願ひいたします。(いくつか電話予約できない科があります。ご了承ください。)

皆さんご覧になった方もおられましようが、当院でロケを行い3月にNHKで放映された医療系テレビドラマ、“極北ラブソディ”では、病院再建を請け負って乗り込んできた敏腕院長は、赤字解消のために病棟閉鎖と透析中止、救急受け入れ拒否を断行しました。ドラマの中の架空の病院である地方自治体病院の規模は220床でした。当院は精神科病棟をあわせて232床なので、大体同じ規模の病院を想定しています。この物語の原作者である海堂尊氏は元外科医であり、現在は病理医としても働いているそうです。つまり、現在の日本の医療状況を良くご存知であり、この物語も荒唐無稽なものではありません。ここで私は皆さんの心配を煽るつもりは毛頭ありません。しかし、早急に建て直しを行おうとすると、このような危険があり得るということは確かです。

この地域において果たさなければいけない当院の大事な機能は入院機能、救急医療、そして周産期医療と考えまます。現在当院では、曲がりなりにもそれらの機能は行政の支援を受けつつ、保たれています。その機能を安定的に維持していくためには、さらなる常勤医確保と財政建て直しが必要です。常勤医確保に関しては、以前のような大学からの派遣がなくなった現在、将来的にも常につきまとう問題です。常勤医が長く定着するような環境作りを、皆さんのご協力をいただきながら、さらに進めていきたいと思ひます。財政に関しては、平成24年度の収支は23年度に比べて約2億円改善しました。今年度は、さらなる改善を目指しています。特に重要なのは、1年を通して入院数を維持することです。皆さんご存知のとおり、冬場は観光客が増える影響で入院も多いのですが、夏場は観光客が減ることと、札幌の病院へ行きやすくなるために入院患者さんが減ってまいます。これを改善することが財政建て直しに大きく寄与することがわかっています。我々も色々な対策を打ってまいますが、皆さんのご協力がなんとしても必要とところまです。よろしくお願ひいたします。

今後も皆さんの期待に沿える病院、開かれた病院となるように職員一同努力してまいますので、よろしくお願ひいたします。



院長 九津見 圭司

目次

- 九津見院長より、新年度のご挨拶 P.1
- 新任医師紹介 P.2
- 第3回地域公開講座を開講いたしました・産婦人科外来拡大のお知らせ P.3
- 第4回地域公開講座のご案内 P.4

新任医師紹介

4月より新たに着任いたしました常勤医師6名の紹介をさせていただきます。新たな体制のもと、地域の中核病院として皆さまに信頼していただける病院となるよう、より一層努力をしてまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

総合診療科

今田 秀穂 医師（総合診療科 部長）

初めての北海道生活をしている総合診療科の今田です。20年ぶりの日本での生活ですので、いろいろお教えてください。



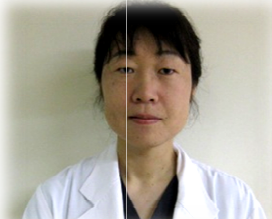
桂 敦史 医師（総合診療科 部長）

喜茂別厚生クリニックが平成25年3月末で閉院となり来ました桂敦史と言います。専門は呼吸器です。宜しくお願いします。



北井 佐千代 医師（総合診療科 医員）

帯広厚生病院から来ました、北井と申します。地域の皆さまのお役に立てるように頑張ります。よろしくお願い致します。



太田 桂一 医師（総合診療科 医員）

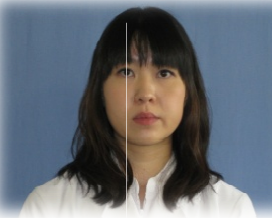
網走厚生病院から参りました太田桂一と申します。総合診療科でお世話になっております。よろしくお願い申し上げます。



精神神経科

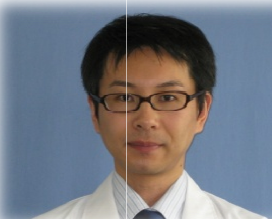
亀山 梨絵 医師（精神神経科 主任医長）

北海道大学病院から異動になりました精神科の亀山と申します。何卒よろしくお願い致します。



幡 賢 医師（精神神経科 医員）

北海道大学病院から来ました幡賢と申します。専門は精神神経科です。よろしくお願い致します。



第3回地域公開講座を開講いたしました



平成25年2月19日（火）13時00分より、当院地下生活療法センターにおいて第3回地域公開講座を開講いたしました。今回は「増えている子宮がんからあなたを守るために～子宮頸がん・子宮体がん・卵巣がん、がん検診について～」と題しまして、当院産婦人科主任医長であります杉山英智医師が講師を務めさせていただきました。その講演の内容の一部ご紹介させていただきます。

日本人の死亡原因1位は**がん**です。そのがんにかかる人は年々増えてきており、子宮がんにかかる人も増え続けています。諸症状については不正出血などがあげられますが、卵巣がんなどは**症状が出にくい**ため“サイレントキラー（沈黙の殺人者）”などと呼ばれています。このように症状がでにくい病気の早期発見・早期治療のためには**定期的ながん検診**が必要です。がん検診には各町村ごとに補助制度があり、補助内容は各町村により異なりますが、病院での検診はもちろん各町村での検診車による集団検診でも補助を受けることができます。また、子宮頸がんにおいては**ワクチンによる予防**もできます。若年層にもがんにかかる人は増えていますので、幅広い世代の方々に定期的ながん検診や予防ワクチンの接種をしていただければと思います。



お問い合わせ先：健康推進課
TEL：(0136) 22-1141
内線：1951

当院でのがん検診をご希望の方や詳細のお問い合わせにつきましては健康推進課までご連絡ください！

このたび、平成25年3月25日（月）よりご利用者さまの利便性やプライバシーを考慮し、産婦人科外来を拡大いたしました。もともと使用しておりました産婦人科外来を、婦人科外来・助産師外来で使用し、その隣のこれまで眼科外来だった場所を産科外来で使用することといたしました。また、待合スペースも拡大いたしましたので、ぜひ一度リニューアルした産婦人科外来へいらしてみてください！



産婦人科外来
拡大のお知らせ